

ヒアリング調査の訪問先についての検討

資料4	令和5年9月26日
	第32期青少年問題協議会 第2回専門委員会

<調査概要（案）>

目的	「豊島区子ども・若者総合計画」の改定にあたり、子ども・若者の生活実態や要望を調査するため、区内在住の子ども・若者にアンケート調査をおこなう。 しかし、個別の支援を要する子どもについてはアンケート調査で実態を把握することが困難であることから、各関係機関の協力を得て個別インタビュー形式のヒアリング調査をおこなう。
調査対象者	利用者（子ども） 2～3名
調査実施方法	区職員または当該団体職員によるインタビュー形式（1人20分程度）にて聞き取りを行い、事務局職員が記録する。（事務局職員2名程度同行）
調査期間	令和5年12月（予定）
調査項目（例）	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所について （例、ホッとできる居場所はどこか） ・子どもの不安、悩み及び相談について （例） ・「豊島区子どもの権利に関する条例」の認知度について ・子どもの参加・意見表明について ・子どもの自己肯定感等について

<訪問先の候補>

① 子ども施設等

子どもスキップや中高生センタージャンプ等の子ども施設、プレーパークや子ども食堂等（合計5か所程度）

【（参考）前回の実績】

子どもスキップ、中高生センタージャンプ、子ども食堂、プレーパーク各1箇所（合計4か所）

② 子ども・若者に関する支援団体

障害、不登校、性的マイノリティ、外国ルーツ等の支援団体等（5か所程度）において、子ども・若者を対象に個別ヒアリング等を行う。

【（参考）前回の実績】

① 障害、②不登校・ひきこもり、③虐待・DV被害者、④外国ルーツ、

⑤多様な性的指向・性自認の子ども支援団体